

ルールを守ってみんなで広げる

# 札幌らしい雪とのつきあい方

## ゆきじい

雪についてなんでも知っている。札幌の除雪事情にとっても詳しい。



今年も雪の季節がやってきました。今回の特集では、冬を過ごしやすくするために皆さんに守っていただきたいルールと、市民・企業・行政が協力し、市内に広がっている雪への取り組みを紹介。札幌ならではの雪との付き合い方について考えます。

## ゆきだるマン

4人家族のパパだが、なぜか雪だるま。札幌の雪事情や取り組みについて勉強中。正義感が強く、路上駐車が許せない。

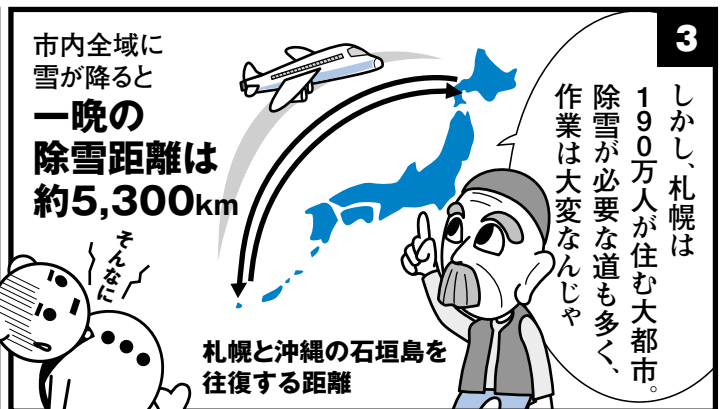
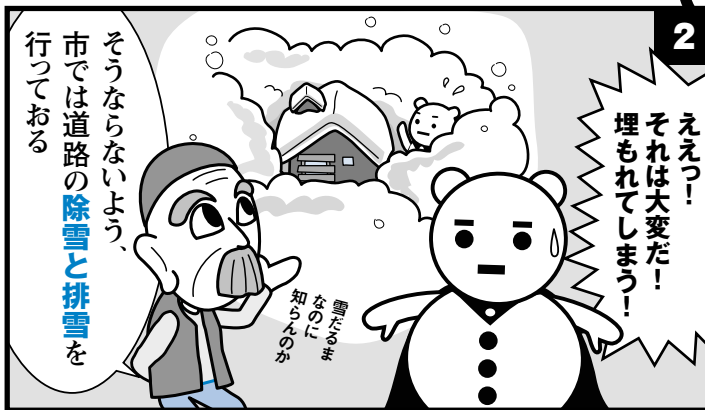


## 札幌ゆきだるマンプロジェクトを展開中!

市民・企業・行政の三者が力を合わせて雪に取り組むためのプロジェクト。本年度は、雪と上手につき合い、雪と親しむ札幌らしい冬の過ごし方を提案するため、ゆきだるマンがさまざまなイベント会場に登場します。ゆきだるマンの2つの耳は、路上駐車をなくし、排雪を減らすという2つの願いから生まれました。

※ゆきだるマン一家については、とじ込みの「冬のくらしガイド」にも掲載しています

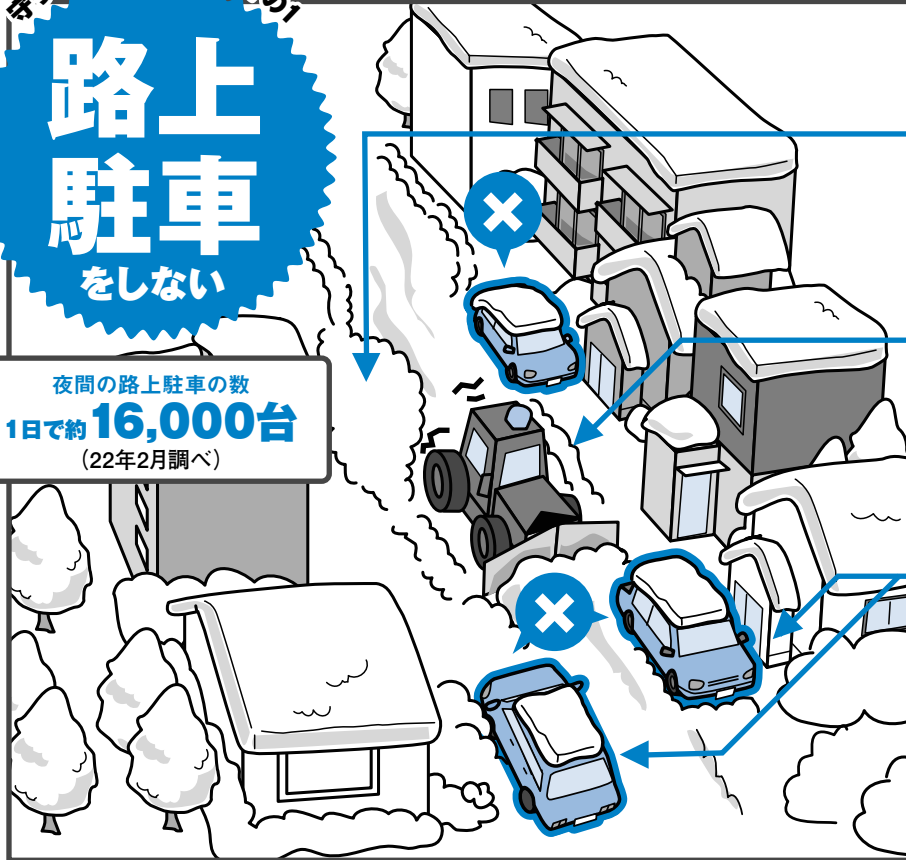
この特集に関する問い合わせは雪対策室計画課 ☎211-2682



守ってほしいルール その1

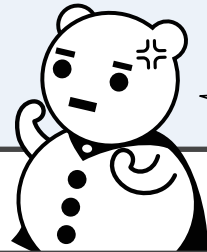
# 路上駐車をしない

夜間の路上駐車の数  
1日で約**16,000台**  
(22年2月調べ)



## 路上駐車があると…

- 左右の雪の量にかたよりが生じる  
路上駐車を避けて除雪を行うと、車の反対側に雪が多く残ります。そのため、路上駐車の反対側に住む住民に迷惑が掛かります。
- 作業のスピードが落ち、朝までの除雪作業が困難に  
雪で狭くなっている道路に路上駐車があると、より安全に配慮する必要があるため作業スピードが落ち、朝までに作業を終えることが難しくなります。
- 除雪作業ができないことも  
路上駐車によって除雪車が通れない場合は、作業を中断して引き返さなければならないこともあります。



路上駐車で、あちこちに悪影響が出るんだな！

守ってほしいルール その2

# 道路への雪出しをしない

道路への雪出し箇所数  
1日で約**4,100カ所**  
(22年2月調べ)



## 道路に雪出しをすると…

- 排雪作業にさらなる時間と費用が掛かる  
道路の排雪には、通常1kmで約100万円の費用が掛かります。雪出しによって排雪量が増えると、それ以上に費用や作業時間が掛かってしまいます。
- 路面が荒れて車が走りにくくなる  
道路に出された雪が車や歩行者に踏まれて、路面がでこぼこになります。そのため、車の運転がしづらくなります。
- 道幅が狭くなり歩行者に危険が  
歩行者と車のすれ違いが困難になり、接触事故の恐れが増します。



こんなにたくさんの人を困らせるとは！



路上駐車と道路への雪出しをなくすためには、一人一人がルールを守ることが必要なんじゃ！また、市内ではこうした課題を解決するため、**市民・除雪事業者・行政の三者で話し合っている地域もあるんじゃよ。**

# 地域に広がる工夫と協力の輪

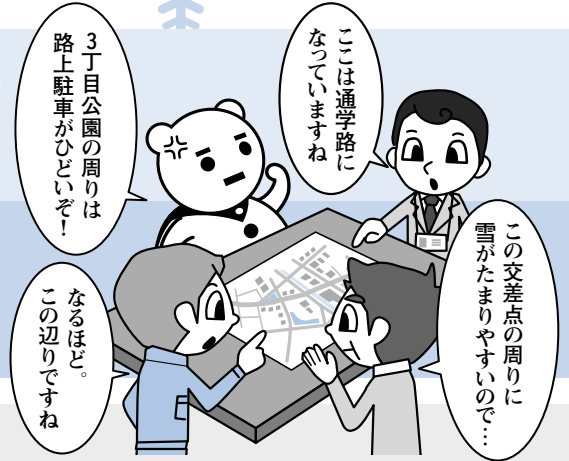


市民が参加して情報を共有する  
**地域懇談会**が行われています

本年度は80の町内会での実施が目標

住宅街の除排雪や冬の道路状況について、住民・除雪事業者・市職員が集まり、地域の課題を洗い出します。

→ お互いの理解が深まり、地域で雪に取り組むきっかけに!



## 懇談会を行うメリット

- ・市の除雪体制が詳しく分かる
- ・市や除雪事業者に地域の状況を細かく伝えられる など

## 懇談会を開きたいときは?

各区の土木センターにお問い合わせの上、詳細をご確認ください。

## 路上駐車が減少

懇談会によって広まった取り組み その1

## 市民・警察・市職員が合同でパトロール

21年度は市内175町内会で実施

町内会・警察・市職員と一緒に地域を歩き、路上駐車している車のフロントガラスにルール順守のための啓発文(右)を張っています。



↑ 合同パトロールの様子。排雪前に実施し、作業をスムーズにします

### 取り組み事例 60人規模の巡回により、路上駐車が着実に減少

冬は道が狭くなり、路上駐車があると救急車などが通れない心配がありました。そこで、地域で話し合い、3年前から60人規模での合同パトロールを実施。その結果、路上駐車が着実に減ったと実感しています。こうした活動は継続が大切。路上駐車は絶対にいけない、という意識を地域の文化として根付かせたいですね。

手稲区  
新発寒わらび連合町内会会長  
かわぐち たけし  
**川口 武さん**



### 地域との協力で作業がしやすくなりました

路上駐車の多い場所など、問題になる道路の情報を、地域の方と日ごろから確認し合うことを心掛けています。そうして集まった情報を基に地域の方が行う合同パトロールはとても効果的で、目に見えて路上駐車が減っています。そのため、除雪がスムーズに行えるようになり、皆さんに気持ち良く外出してもらえようになりましたよ。

西区南地区除雪センター長  
あべ たけのり  
**安部 武徳さん**



除雪事業者も実感!  
パトロールの効果



# 公園を地域の雪置き場として活用

これまでに市内 **545カ所** で実施

冬の期間、覚書で一定のルールを設けて、公園を雪置き場として使用しています。

**取り組み事例** 子どもの安全が確保され、住民の交流も盛んに

この地域は道幅が狭い住宅街。冬になると、自宅で処理しきれない雪が通学路沿いに積み上がり、子どもが事故に遭う危険がありました。そこで市と話し合い、公園にある遊具を動かしてスペースを作り、雪置き場にしました。これによって道路の雪が減り、子どもたちも安全に歩けるようになった上、雪を置きに来る住民同士の交流も増えましたよ。

南区藤野緑町町内会会長  
ふくだしげる  
**福田 茂**さん



↑雪置き場になった公園。奥まで雪が積み上げられている

こんな取り組みも!

## 新しい地域の雪置き場 ゆきだるマン広場

地域・企業・市がルールを決めた上で、企業の遊休地や、個人の土地などのスペースを雪置き場として利用する取り組みを試行的に行います。

※ダンプなどでの搬入は原則できません



↑看板が広場の目印です

スペースを貸していただける企業、個人の方を募集!

雪対策室計画課  
☎211-2682に連絡の上、詳細をご確認ください。

# 雪を学び、楽しむイベント ふゆトピア・フェア in 札幌

「雪がつくる人の絆」をテーマに、シンポジウムや除雪機械の展示・実演会のほか、子ども向けのチューブ滑りなどの催しも実施。雪とのふれあいを通して、雪を楽しむ方法や、雪と共に暮らしてきた人々の工夫などを再発見できるイベントです。

**日時** 1/21(金)、22(土) 午前10時～午後5時(22(土)は午後3時まで)。

**会場** コンベンションセンター(白石区東札幌6の1)。

除雪機械展示・実演会は豊平川緑地(中央区南7東2)。

※各イベントの開催時間など、詳しくはふゆトピア実行委員会 ☎709-2311にお問い合わせを



わたしも会場でも待ってるぞ!



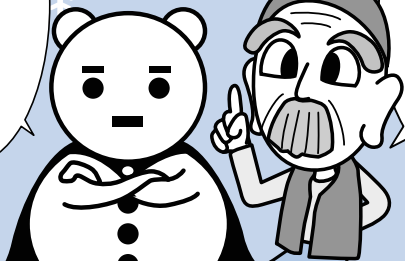
## 雪との暮らしをより良いものに

雪が降ると生活環境が大きく変わり、冬ならではのルールが生まれてきます。札幌の冬を過ごす上では、そのルールを守りながら、雪と上手に付き合っていかなければなりません。

今回見てきた取り組みは、ルールが守られないことが原因で生じた課題を解決するため、市民・企業・行政が知恵を出し合って生まれたもの。最初は小さなアイデアでも、次第に大きな輪となり、今では市全体の冬の暮らしを支えるまでに広がっているのです。

地域を動かし、札幌を支える、雪との上手な付き合い方。皆さんも考えてみませんか?

札幌らしい雪との上手な付き合い方... わたしも考えてみるか!



雪には、組織や立場を超えて人々をつなぐ力があるんじゃないかな

雪対策に関する詳しい情報はホームページでもご覧になれます。www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki